来海・ヴェガ3P本

憎き魔王……

のはずなのに――

R 18+
ADULT ONLY

魔王の生まれ変わりを
抹殺しようとした私は、

最新の
魔王構座

生まれ育った環境など
色々なことが考慮されて、
保護観察という処分に落ち着き。

スレ……来海様たちと一緒に過ごしていた。

……

ジー

……なんだ？

べつに……

まだ俺の命を狙ってるのか？
かぐ耶たちから聞いたんだろ？

あんなのすぐに受け入れられるわけないだろ

……ま、それもそっか

じゃあ少しずつでも受け入れて
もらうために、改めて自己紹介だな

俺は風谷李空

ヴェガ、です

これからよろしくな

おまえと過度に
慣れあうつもりはない

ヴェガは外に出たりしないのか？

今の私には目的がない。

食事も用意してもらえるし、わざわざ外に出る必要がない

……

そうだ！

今から遊びに行くぞ

は？

まさか来海様も一緒とは

ん？　どうしたのヴェガちゃん。もしかして嫌だった？

いえ、滅相もありません！

というか

むしろ私がお邪魔なのでは？

あはは、そんなわけないじゃん

私もヴェガちゃんと一緒に遊びたかったんだから！

……

そうですか……

ELCON

楽しかった？

疲れました

結構遊びまわったからな～

……正直、戸惑いばかりでしたけど、

たまにはこういうのも悪くないかもしれません

……

そっか

ちゅぼ

あれ？

おや？

奇遇だな、今日は一人で散歩か？

……

……勘違いするな。

先日は来海様に免じて付き合ってやっただけだ

スタ

スタ

ふん…

え～…

あぶないっ！
え…？

きゃっ!?
ぽけ〜

……大丈夫か!?

は、はい、

なんともありません

よかった、今度から気を付けるんだぞ…

……!?

あなた、怪我して……!?

……手当、

させてください

キュッ

チョキ・

ニュル

うまいもんだなぁ

ふぅん。

魔王を倒す訓練で
いろいろ覚えましたから

ありがとな

ポ

ん……

き、気安く頭を撫でないでください！

あ、ああ、すまん

まったく……

あ、ヴェガちゃん
来海様……
と、魔王……
私たちこれから帰りなんだけど、
いっしょにどう？
はい。是非

大きい手、

背も私よりずっと高くて

……って私はなにを

こんなやつ
その気になればいつだって殺せ……

殺す？
魔王が、李空が死ぬ……

嫌だ

ん？　ヴェガ、どうしたんだ

すん

いえ、

ちょっと用事を思い出したので失礼します

あっ、ヴェガちゃん！

なんで……

なんで……

タッ

タッ

この気持ちは……っ

お前は、なんなんだ!?

ぽつん

ヴェガちゃん

来海様……

……なぜ、ここに？

あんなふうに
急に走り出したら気になっちゃうよ

……

それで、

なにかあったの？

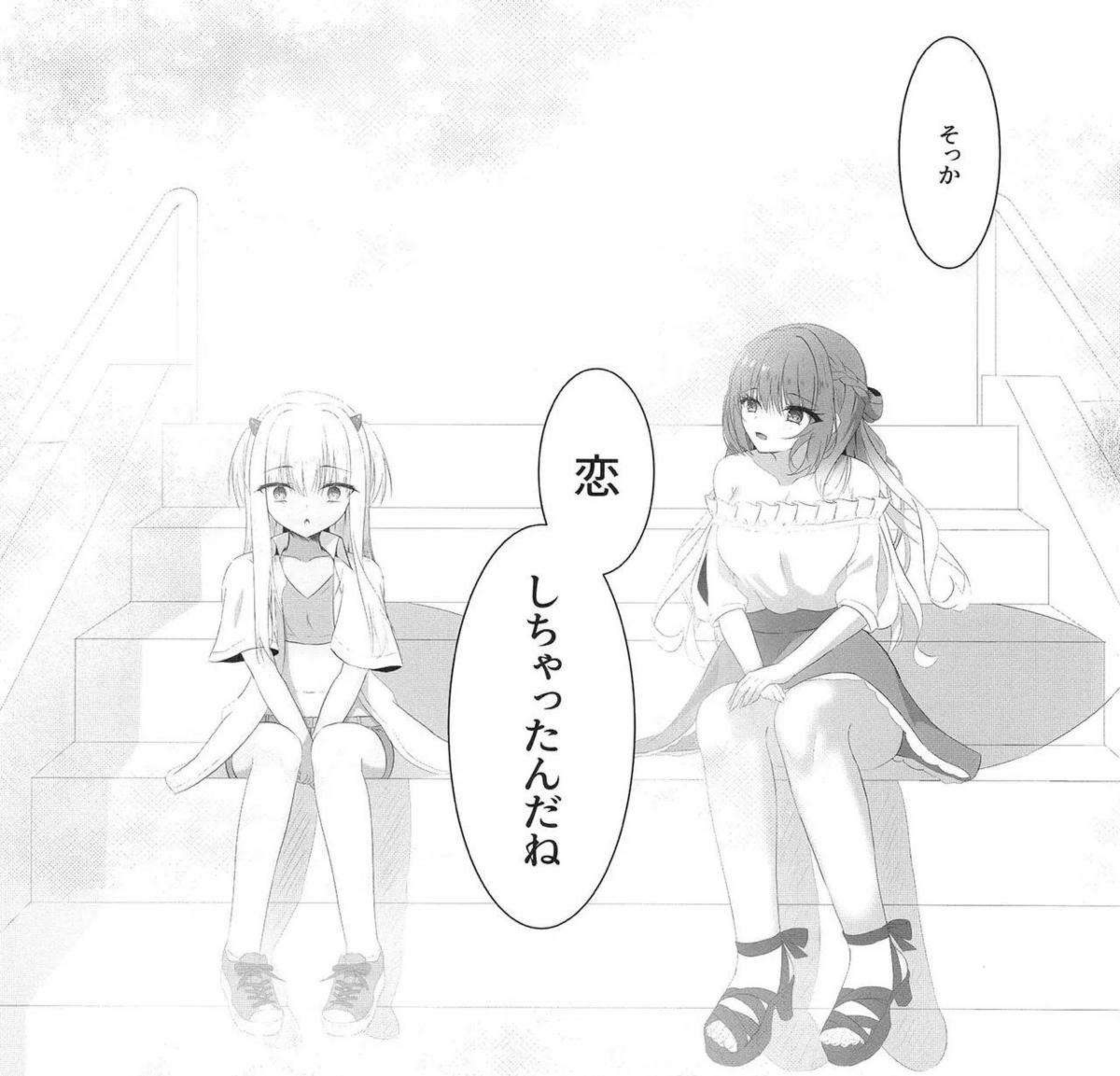
このところおかしいんです

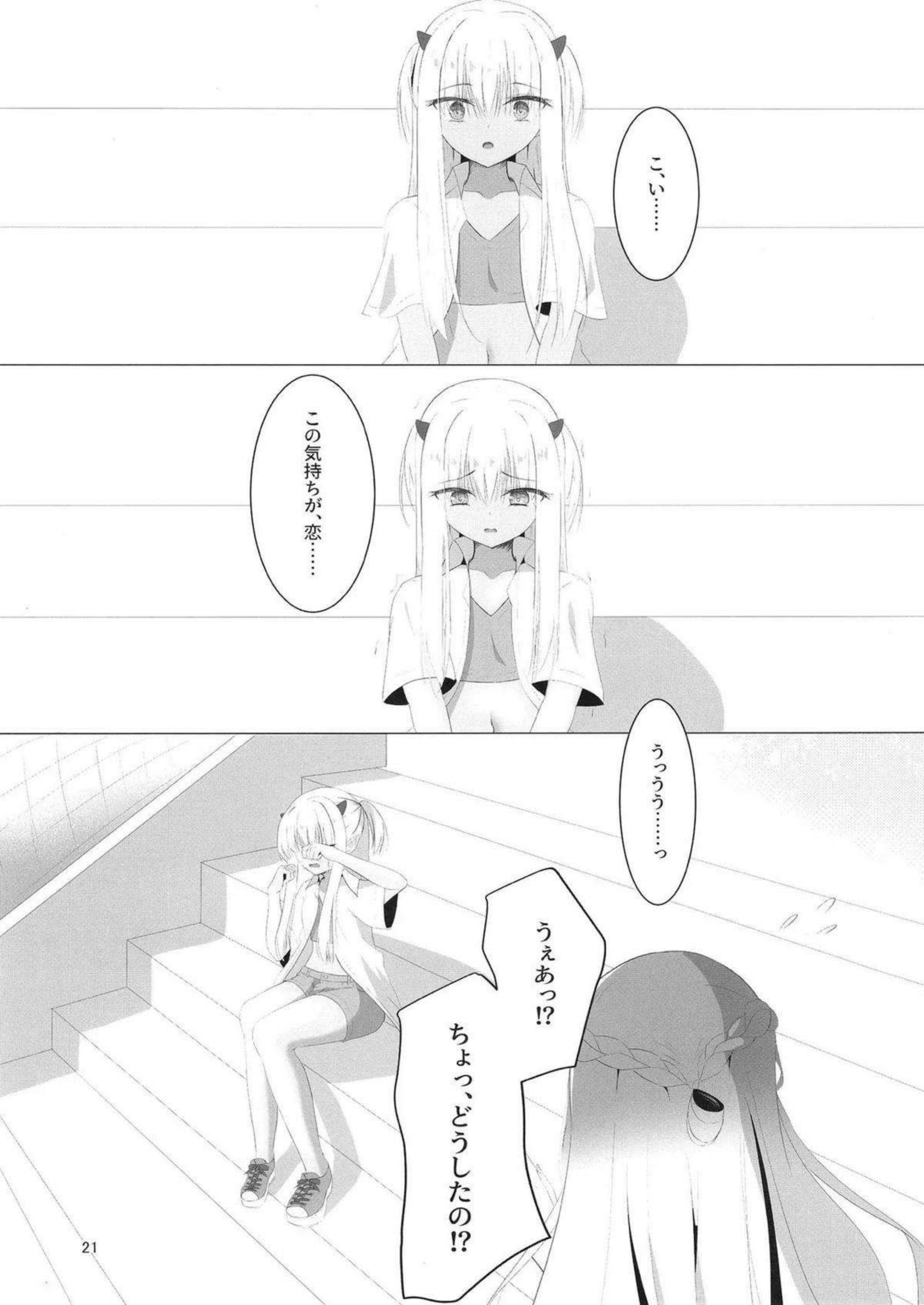
少し前まで魔王は敵、殺すべき対象だと思っていたはずなのに

今は魔王が死ぬだなんて……

考えただけで、すごく胸が痛くて、

苦しくて張り裂けそうにるんです……


そっか
恋
しちゃったんだね


いろ……
この気持ちが、恋……
うっうう……っ
うぇあっ!?
ちょっ、どうしたの!?

だって魔王はスレイ様……来海様の大切な人で

お二人は本当にお似合いで……

ぐすん

それなのに私は

……ううっ、ごめんなさい

ごえんあさぁっい……っ

大丈夫、謝らなくていいんだよ

でも……

ヴェガちゃんは、どうしたい？

それは

やはり、この気持ちをなかったことにしたまま

何事もないようにするべきか

ううん、そうじゃないよ

どうするべきかじゃなくて、

ヴェガちゃん自身はどうしたいの？

――私は……っ、

私も魔王に、

李空に愛してもらいたいです！

手をつないで隣を歩きたい！

ぎゅって抱きしめてほしい！

頭を撫でてほしい……っ！

それから、

それから……っ

うん、そうだよね。

もうどうしようもないくらい、

大好きなんだもんね

ううっ……

うわあああぁぁぁ――

おーい来海、
大事な話って？

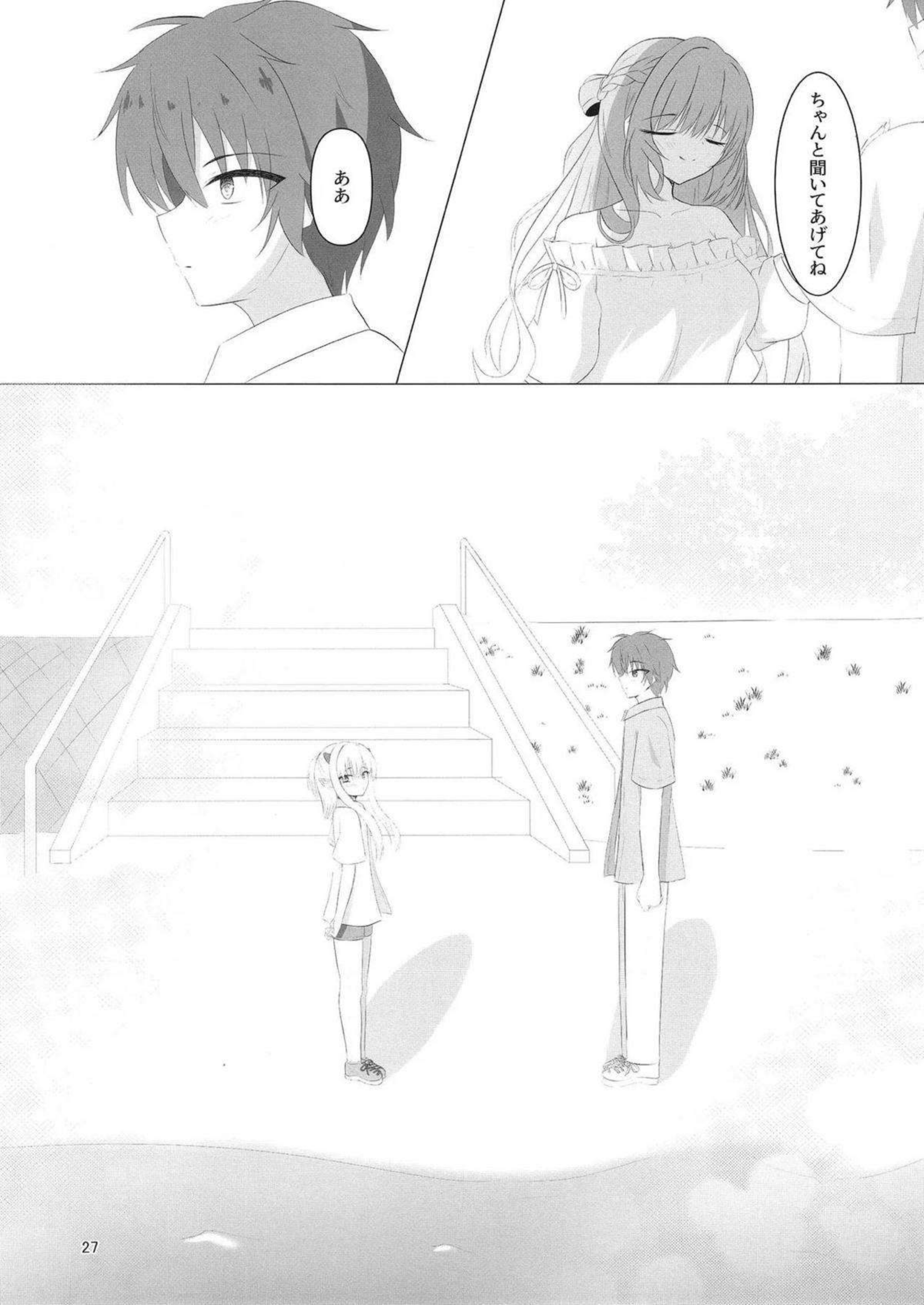
にひひっ

ヴェガちゃんがね
リックンに伝えたいことあるんだって

ヴェガが？

っ……、は、はい

そうです……


ちゃんと聞いてあげてね
ああ

……

私にとってあなたは、
忌むべき存在でした

魔王の本来の歴史を知っても、
すぐに受け入れることはできませんでした

そう育てられていたから

でもあなたは
そんな私に微笑んでくれた

助けてくれて

頭を撫でてくれて

いっぱいいっぱい
幸せを教えてくれました

すごく
嬉しかったんです

あなたといる日々は
何もかもが新鮮で

せわしなくて

たまに鬱陶しいけど

それも嫌じゃない

思い出す日々の全てにあなたがいて

思い返すたびに気分が高揚して

胸の中が満たされていくんです
全部あなたのせいですよ

谷風李空
私はあなたのことが、
大好きです

うん

俺もヴェガが来てから

もっと楽しくなった

私と、

恋人になってくれますか？

こんな俺でもよければ

よろしくな

ばっ

ぎゅっ

あなたがいいんです

あなただからいいんです！

じゃあまずは
ヴェガちゃんからしてみよっか

いいんでしょうか……？

いいのいいの

リックン、
気持ちよくしてあげなきゃだめだよ

お、おう……

はぁ

んむっ!?

ちゅっ

んっ♡

ぷはっ！

はーっ

はーっ

これが、キス

……すごい

……っ!?

ビクッ

ビクッ

ど、どうした!?

いえ……

なんだか股が疼いて

ゾクゾク

お腹の奥が
熱くなってくるような……

それってもしかして……

ヴェガちゃん

キスだけでイっちゃったんだ♡

イく、というのは――

むぐっ……

じゅる♡

んちゅ…んんっ!?

ちゅ♡

ぷはっ、

はあっはあっ……

はーい

はーい

はーい

またイっちゃったね……

やーらしー♡

くちゅ

くちゅ♡

こっちも準備できてるね♡

さ、リックン

ドク

ドク

ドク

あぁ……

おっきい……

これが今から
ヴェガちゃんの中に入るんだよ

ギ

こんな大きなものが
私の中に……

最初はちょっと痛いかもしれないけど、
すぐに気持ちよくなるからね

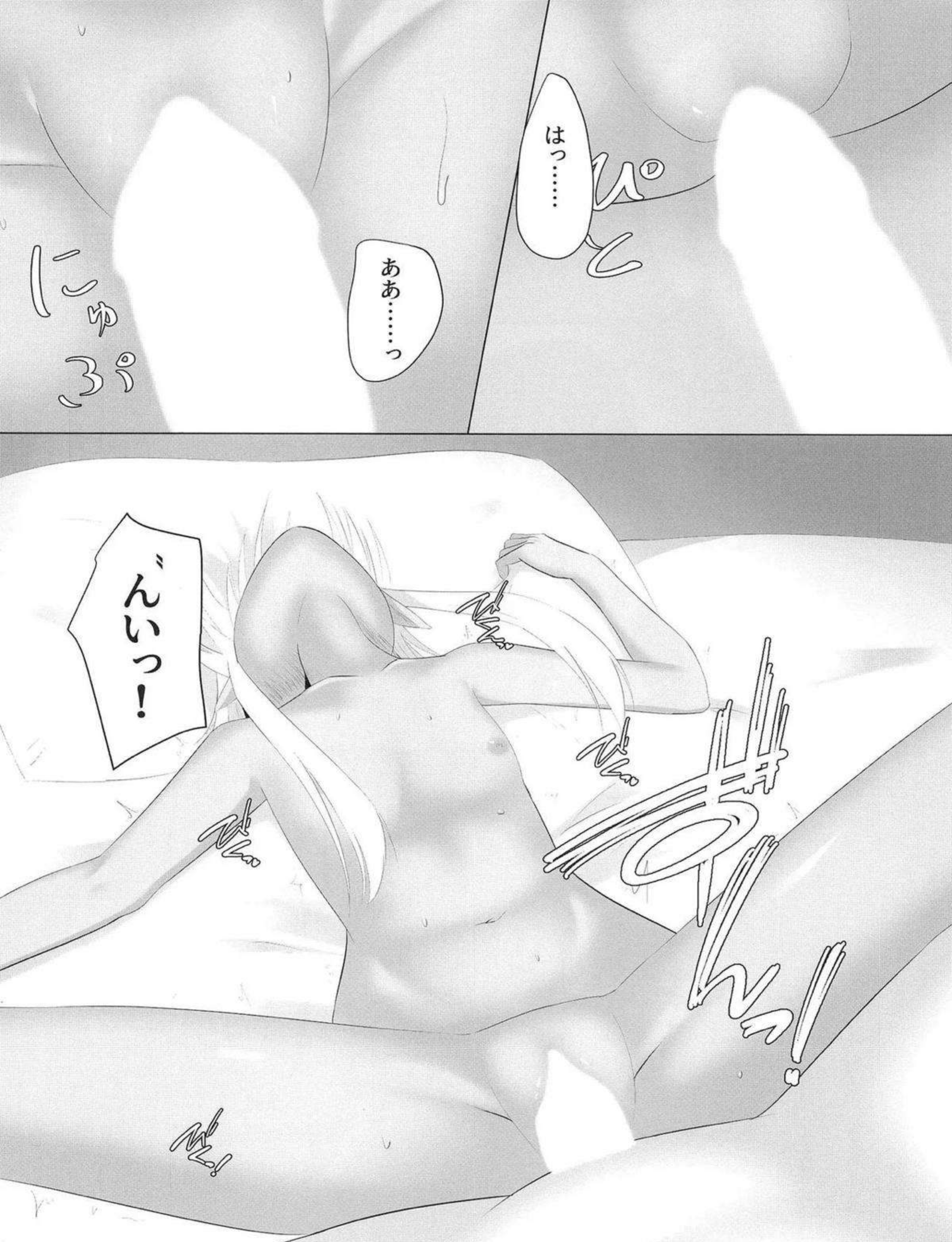
……はい、

ではその……

はー

はー

きて、ください……


はっ……
ぷっ
ああ……っ
にゅぷ
んいっ！
ぐぃっ！
ぐぃ！

大丈夫か？

はい……

一瞬ズキっとしましたけど、もう大丈夫です

念のためもう少しこのままでいようか

ちゅ

ちゅ

もう大丈夫です……

動いてください

わかった

っ……ふぁっ……！

な、これ……すごい

ぴくぴくぴく

なか、
あっつ
な、に……
ぶるるる!

んあっ♡

……これは？

これが精液だよ

とろ〜

ヴェガちゃんに赤ちゃん産んでほしくてでちゃったんだよ

私を……

ちゅる

孕ませたいんですね

へんな味ですが、嫌いじゃない、かも……？

どろ〜

次は私の番だよ

はぁっ……あん♡

きたぁ♡

来海様

あんなに乱れて……

ヴェガにもよく見える
ようにしてやらないとな

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

……すごい、

私もこんなふうにつながってたんですね

あはっ……見られちゃってる……

一番エッチな場所丸見えになってる～♡

ぺろ

ちゅぱ

すごい

私も気持ちよくなれるようにお手伝いします

んひいいいいいっ!?
ヴェガちゃんそれだめ
感じすぎぢゃう……♡
イっちゃう〜〜!
もうイく…

おぉぉ
ぶるるん
ぶるるん
ぶるるん
ぶるるん
ぶるるん
はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
にゅぽん
かく

あ、来海様の中から垂れて……
もったいない
れぇ…
くうみはまもろうぞ
（来海様もどうぞ）
ゾク
ゾク
んちゅ…
じゅるる……ごっくん
どろ〜
ぽけー
はー
はー
はー
えへへ、
ありがとヴェガちゃん

ゴゴゴゴ

ぴと

ふぇっ、

リックンまだできるの？

ふあぁぁぁあ♡

また私……っ♡

んぉ…

ぶるん

ぶるん

オッ

おッ

ビク

ぁぁッ

アッ

……私の上でこんなに激しく……

ビク

ビク

すりゅ

あえ……？

ひゃあああぁぁぁぁ♡

ぴゅん!

ぴゅん!

ぴゅん!

ぴゅん!

ぴゅん!

ぴゅん!

あぁ…

んぁ…

あぁ…

んぁ…

あはっ、
私たちのお○んこハメ比べされてる♡
んぁ…
あぁ
んぅ♡
あぁ
ぎゅっ
ぅ…

くる、み、さま……
ぅ…
あんっ
ハァ…
ハァ…
わたしもう……♡
うん
私ももうイきそう……
んぁ
あんっ
ぁぁっ
ぁぁっ
このまま一緒にイこ♡

ぐぐっ!
ぬぎぬぎ
ぬぎぬぎ
ぬぎぬぎ
ぬぎぬぎ
はーい
どろ
どろ
どろ〜
はーい
はーい
はーい

どうも

私はあなたのことが
好きだと言いましたけど

まだ完全に認めた
わけじゃありませんからね？

え～…

だから……

これからも
かっこいいあなたを
たくさん見せてくださいね

私の新しい人生は

始まったばかりだ――

憎き魔王……のはずなのに——

発行日：　2024年12月29日

著者：　カラミティ
発行：　夕凪プロムナード

印刷所：　ねこのしっぽ

X ID：　calamity_saika

本書を無断で複写複製、転載、データ配信、
オークション出品することを、固く禁じます。